

豊丘村長 下平喜隆 殿

令和 6 年度 豊丘村行政評価委員会 意見書

豊丘村の令和 5 年度決算に基づく建設関連事業の行政運営や施策の実施状況等に関して、豊丘村行政評価委員会において審議した結果、別紙のとおり施策の評価を行い、併せて施策に対する意見等が出されましたので、予算編成や企画立案等、行政執行に可能な限り反映してください。

令和 6 年 1 月 15 日

豊丘村行政評価委員会

委員長 武田 徹

副委員長 丸山 恒夫

委員 長谷川 義久

委員 松村 年貴

委員 木下 進

委員 壬生 善廣

委員 林 城仁

令和6年度 豊丘村行政評価委員会 意見書

■取組状況・進捗度 (A～E)
■成果・達成度 (大～小)

担当課	施策番号	施策名	意見等	委員会評価	
				進捗度	達成度
産業振興課	1-1	リニア開業を 見据えた産業 振興	【企業の誘致・事業所、関係機関等の誘致】について ○伴野区では30年前から企業と地権者の交渉で工場が立地してきた。村が間に入り、借地料は統一されてきた。近年進出する企業は地権者と個別に交渉し、その基準ではない借地料で契約されている。個別に交渉するとそれぞれ異なってしまうため、借地料を決める際は村にも積極的に関与してほしい。 ○企業の村内進出により、人口が増えたり雇用が増えたりと、村の活性化へのメリットはあると考える。リニアだけでなく、竜神大橋の開通に伴い河野地区の様子は大きく変わることが予想される。村が企業と地権者の間に入り、しっかりチェックして総合的に判断して進めてほしい。また、農地の保全についても重要視してほしい。	C	小
産業振興課	1-2	賑わいの拠 点づくり	【1 道の駅の更なる活用】について ○「こと」事業を行うにあたり、年間を通して村の魅力を観光協会で把握することが大切。地元の人達との対話が足りていないように感じるため、魅力発見のために対話を大切にしてほしい。 ○「こと」事業を行っていくには、ある程度のマンパワーが必要であると考え。今後進めていくためには、人員を強化したり、魅力的な人員を採用していくかなければならないと思うので、見通しを立てきちんと人員を確保をしてほしい。 ○直売所の仕入について、生産者に市場価格をきちんと説明することが大切だと考える。引き続き農家とのつながりを大切に、個人での価格判断にならないような組織づくりを進めてほしい。 【2 「小さな拠点」整備】について ○道の駅にパルムが入ったことで、日常的に道の駅に訪れる人が多くいる印象。しかし、店舗面積が限られているため、品ぞろえが少ない。隣にドラッグストアができた影響もあり、今後パルムを利用する客が減少することも考えられる。村として、パルムを守ることが道の駅、レストランを守ることにもつながるのではないかと。	B	中

担当課	施策番号	施策名	意見等	委員会評価	
				進捗度	達成度
産業振興課	1-3	農業振興の 推進の拠点 づくり	【4 スマート農業の推進】について ○高齢化が進む中、機械だよりになる部分が出てきてしまう。引き続き支援をお願いしたい。	C	中
			【5 多様な担い手の確保】について ○補助制度が充実したために、認定農業者が増加した。ありがたいので引き続き支援をお願いしたい。		
			【6 遊休農地対策の推進】について ○放置されている農地に関して、1番良いのは新たな耕作者が見つかることだが、スピードが追いついていないのが現状。根本的に解決するには、遊休農地化する前に手を打つ必要がある。設備も条件も悪いところを行政できちんと整備して、借り手が見つかるまでの管理についても地域と方向性を決めるのが良いのではないか。 ○果樹をやるための柵等の設備への支援も進めてほしい。 ○地域計画で農地の管理をするのも大切。行政がどこまで踏み込むのか考えてほしい。		
産業振興課	1-4	商工業の活 性化	【1 経営安定化・事業継承支援の推進】について ○新たに事業をできるだけ安く始めたい人と、最終的に築き上げたものを譲るにあたっての評価が見合わないと感じ、マッチングがうまくいかない話を聞く。自分はまだ元気に働けるから事業継承はまだ先だと考えている人が、急にできなくなってしまう場合もある。なかなか本気で考えにくい部分ではあるが、将来的なことを早めに考えて準備をするよう周知することも大切だと考える。	C	中
			【4 買い物弱者対策】について ○買い物弱者対策は、待ったなしの課題。高齢者の免許返納が進むなか、昼間時間のある人が高齢者の送迎を行うなど、安否確認も兼ねて外の人と話をする機会を設ける仕組みをつくるよう積極的に取り組んでほしい。		

担当課	施策番号	施策名	意見等	委員会評価	
				進捗度	達成度
産業振興課	1-5	森林資源の活用	【4 松くい虫被害対策の推進】について ○ここ最近、松くい被害木の伐採が遅いと感じる。里山に近い部分(幹線道路沿いなど)は危険な状況になるため、特に早く対応してもらわないと困る。 ○現在の伐採は切り捨ての形で行っていると思うが、切った後、搬出する負担が金銭的にも作業的にも大きく、評判が悪い。切った後の管理についても、対応を検討してほしい。 ○森林組合への依頼が、森林組合のほうで人員的に負担ということであれば、民間への森林資源活用を促進する取組が必要。現在ペレットストーブの購入についての補助制度があるが、薪ストーブについても補助制度を設けることで、切った後の木を資源として活用できるのではないかな。 ○切った後の資材についても、規格、場所を決めて集めたり持っていくことができる仕組みがあってもよいのではないかな。	D	小
産業振興課	2-1	移住相談・情報発信の充実	【1 シンディプロモーション推進】 ○定住促進のために設けられている補助金について、要件である、「助成金の支給を受けた者が助成金の交付決定の日から起算して5年以内に自治組織を脱退した場合又は虚偽その他不正の手段により助成金の交付決定を受けたとき 助成金の全額を返還しなければならない。」を逆手にとり、5年経過後に自治会や隣組という事例が増えている。返還期限等について見直しが必要ではないかな。 ○災害時、助け合う隣組は非常に大切な制度。移住してきた人にも理解いただけるように、移住する前からきちんと説明する、パンフレットへわかりやすく記載するなど、移住後の地域形成まで見据えた案内をしてほしい。地域の維持については村全体の問題である。 ○村として、どのような移住者を呼び込みたいのかというビジョンをしっかりと持つことが大切ではないかな。ただ住宅へ補助金を出すことで呼び込むのではなく、子育て世代だったら教育をアピールするなど、工夫が必要。補助金以外の魅力も大切にすべき。 【3 相談体制の充実】 ○移住相談窓口をとよおか旅時間に設け、土日も対応ができるようにしたのはよいことだと考える。	C	中
			【4 移住者への支援の充実】について ○空き家所有者へのアプローチについて、引き続き積極的な活動を行い、空き家情報登録を増やしてほしい。 ○豊丘村では、空き家物件の詳細をホームページで非公表としているが、情報発信の観点から考えると弱くなってしまっていると感じる。公表することのデメリット(防犯面など)も理解出来るが、公表している自治体もある。情報ツールによって掲載内容を使い分けるなどの工夫も含めて検討が必要ではないかな。		

担当課	施策番号	施策名	意見等	委員会評価	
				進捗度	達成度
産業振興課	2-3	就労環境の充実	【1 働きやすい環境づくりの推進】について ○中学生向けの企業説明会「しごと・未来フェア」や「地元企業職場体験」を実施していただいているが、具体的に進路を考える必要がある、村内高校生向けの説明会を開催することも検討してほしい。	C	中
			【2 企業・事業所の誘致】について ○伴野工業団地ができたことにより、地元の雇用が増えた。最近進出した企業についても、就職者のうち村内者はどれくらいいるのかといったデータを把握できるとよいと考える。 ○今後進出を考えている企業については、村が間に入って、地元の雇用を助めてくれる企業を誘致するようにしてほしい。 ○リニア中央新幹線の開通に関して伴野区から、JRIにリニア博物館を建設してほしいという話をしている。駅から発車する様子を見ることができると素晴らしい立地が地区内にある。博物館ができることで雇用も生まれるので、村も是非一緒に検討してほしい。		
産業振興課	3-1	観光資源・コンテンツの充実	【1 観光資源の整備・活用】について ○サイクリングツアーをはじめとするガイドについて、取るべき資格を整理し、取得した人は「豊丘村認定ガイド」として位置づけてはどうか ○地域おこし協力隊がガイドを行うにあたり、生産現場などを実際に体験することで説得力が増すと思う。引き続き現場に行く機会、時間をしっかりと設けて村について学んでほしい ○豊丘村には、観光資源になりうる自然がたくさんある。再発見のための調査をきちんと行ってほしい。 ○少し木を切れば見晴らしがよい観光スポットになりえる場所がたくさんある。福島てっぺん公園なども素晴らしい。地元住民と協議しながら観光スポットづくりを進めてもよいのではないか。 ○豊丘村に大規模宿泊施設を建設することは難しいと考えられるが、簡易宿泊施設として、トレーラーハウスを導入してはどうか。トレーラーハウスを景観のよい場所に停めて宿泊してもらえば、ホテル建設よりは現実的である。	A	中
			【2 周遊滞在型観光コンテンツの創出】について ○村内完結ばかりを目指さず、南信州広域で考えて進めていくことも大切だと考える。引き続き周辺市町村等と連携して進めてほしい。		

担当課	施策番号	施策名	意見等	委員会評価	
				進捗度	達成度
産業振興課	3-2	効果的なプロモーションの推進	【1 観光ブランディングの構築】について ○りんごの木オーナーや松茸観光など、農家の高齢化やコロナの影響で継続が難しい事業が出てきている。観光事業について、持続可能であることがひとつ大切なポイントであると感じる。やった成果が目に見えたと、今後も続けていきたいという気持ちになる。成功体験を与えられるサポートができるとういのではないか。 ○継続が難しい事業について、引き継いでもらえる人を村内全体へ募集することを検討しているとのことだが、ただ募集するのではなく農協生産部会の反省会に顔を出して説明するなど、直接話をする機会を設けるとよいと考える。 ○ベジフルキッチンへ食材を出した結果を報告する機会、反省会などを定期的に設けて、農家とのコミュニケーションを取ってほしい。現場の声をすることで、翌年度へのモチベーションや見通しを立てることにつながる。	B	中
			【3 インバウンド向けコンテンツの充実】について ○リニア開通を見据え、インバウンドについても考えていかなければならない。アピールポイントとして「日本一英語を話す高齢者がいる村」を掲げる、学生が英語でガイドを行うなど、面白い取組を考えてほしい。		
産業振興課	3-3	多様なつながりの創出	【2 二地域居住の推進】について ○クラインガルテンの取組はとても良いと思うが、契約後結局空き家のような状態になってしまっては意味がない。お試し住宅に利用するなど、有効活用できるような運営方針を、課係横断的に検討してほしい。 【4 地域間交流と国際交流の推進】について ○地域間交流について、特に幼少期の体験は価値のあるものになると思う。観光と結びつけながら、取り組んでほしい。 ○以前はアメリカへのホームステイ制度があり、活用した。とても良い経験であり、その後の人生に大きな影響を与えた。今行わないのはなかなか難しいのかもしれないが、デジタルを活用するなど、行政としては是非取り組み方を検討してほしい。	C	小
			【1 安定した水道水の供給】について ○漏水工事に関するお知らせがよく来る。村民の生活に直結する分野であるので、村の自己評価が高くて安心した。引き続き取り組んでほしいところ。また、現在の更新計画や方向性について、村民が協力したい、と思えるような周知を行ってほしい。 ○今後、リニア工事で発生した水は天竜川へ放流すると聞いている。山から染み出てくる水なので、ただ流してしまうのではなくどうにか活用してほしい。喬木村では、浄水場を作って水道水に活用するという話が出ている。水質調査の結果も踏まえながら、喬木村と連携して検討を進めてほしい。		
建設環境課	8-2	上下水道事業の安定運営		A	大

担当課	施策番号	施策名	意見等	委員会評価	
				進捗度	達成度
建設環境課・産業振興課	8-3	資源循環型社会・地球温暖化防止対策の推進	【1 脱炭素への取組みの推進】について ○山梨県では、果樹を燃やして炭にして畑に返す活動をしている。長野県はほとんど野焼きであるが、炭化機の活用も検討してほしい。 ○現在役場に炭化機が1台あり、以前相談したところ無料で貸していただいた。脱炭素の取組に貢献できること、炭化機を貸し出していることをもっとアピールしてほしい。また、追加での購入や、大きなプラントを設置して積極的に回収することも検討してほしい。 ○学習会等は積極的にやっていただいているが、具体的に取組めることについて計画してほしい	A	中
建設環境課・産業振興課	8-4	里山風景の保全	【1 自然と調和した景観形成の促進】について ○竹林整備について、現在竹の受け入れについては個人の竹が優先されている。地域維持のために作業を行っている、自治会や区の竹を優先して受け入れることを検討してほしい。 ○竹林整備にて出た資源を、チップにして活用するよう働きかけてほしい。 ○里山の保全には、根本的に有害鳥獣を減らす必要がある。被害を受けている人がお金を出して整備するのではなく、地主に負担のかからない対策制度をつくってほしい。 ○自治会や区での道づくり作業として、側溝の掃除を行っている。役場のブローワーを借用し使用したが、最終的に集めることを考えるとバキュームを使用した方が効率が良いのではないかという話が出ている。役場でもバキュームを用意してほしい。 ○柿の落ち葉は硬くて処理が難しいが、放置しておくわけにもいかず困っている。 【2 空き家・遊休農地対策の推進】について ○財産管理制度を使っても、最終的に次につながらればお金の使い方としても納得できる。状態によって担当課が異なるようだが、優先順位を共有して役場横断的に取り組んでほしい。	B	中